

## 1.プロトコル

RS - 2 3 2 C 準拠 / RS - 4 8 5 (HALF DUPLEX) 準拠  
START Bit 1  
STOP Bit 1  
DATA Bit 8  
PARITY EVEN  
DATA RATE 1 2 0 0 ~ 9 6 0 0 b p s 可変  
CODE ASCII  
ターミネート CR,LF (0x0d,0x0a)

## 2.WRITE コマンド

マトリックススイッチャ (MSW-3216/4816/6416/3232) が MENU を表示している状態ではコマンドを受け付けません。「MENU+CR,LF」を返します。

### 2-1.ANSWER

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「E0+CR,LF」	フレーミングエラー
「E1+CR,LF」	パリティエラー
「E2+CR,LF」	オーバーランエラー
「E3+CR,LF」	コマンドエラー
「MENU+CR,LF」	インフォメーション, MENU 表示中

### 2-2.COMMAND

#### 2-2-1.「ACC+CR,LF」(ALARM COMPULSION CANCEL)

ALARM 状態を強制解除します。

#### 2-2-2.「ADTnn+CR,LF」(ALARM DURATION TIME)

ALARM DURATION TIME の設定をします。

nnは時間で単位は、秒です。設定範囲は【01】～【60】秒です。

ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為

「GN+CR,LF」を返します。

#### 2-2-3.「AICB+CR,LF」(ALARM INPUT CONTACT BREAK)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【BREAK】に設定します。

ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為

「GN+CR,LF」を返します。

#### 2-2-4.「AICM+CR,LF」(ALARM INPUT CONTACT MAKE)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【MAKE】に設定します。

ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為

「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-5. 「A I S n n n n+CR,LF」(ALARM INPUT CHANNEL SELECT)  
ALARM INPUT CHANNEL SELECT の設定をします。  
左端の2文字のn nは各アラーム接続端子の番号です。  
次の2文字のn nは各入力チャンネルの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-6. 「A I S A L n n+CR,LF」(ALARM INPUT CHANNEL SELECT)  
ALARM INPUT CHANNEL SELECT の設定を全て同一の入力チャンネルに設定します。  
左端の2文字のn nは各入力チャンネルの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-7. 「A M E+CR,LF」(ALARM MEMORY ERASE)  
記憶されているアラームのメモリを全て消去します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-8. 「A M O n n 0 n O N+CR,LF」(ALARM MONITOR OUT SELECT)  
ALARM MONITOR OUT SELECT の設定を【ON】に設定します。  
左端の2文字のn nは各入力チャンネルの番号です。  
次の1文字のnは各出力モニタの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-9. 「A M O n n 0 n O F+CR,LF」(ALARM MONITOR OUT SELECT)  
ALARM MONITOR OUT SELECT の設定を【OFF】に設定します。  
左端の2文字のn nは各入力チャンネルの番号です。  
次の1文字のnは各出力モニタの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-10. 「A M O A L 0 n O N+CR,LF」(ALARM MONITOR OUT SELECT)  
ALARM MONITOR OUT SELECT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
各出力モニタを【ON】に設定します。  
nは各出力モニタの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-11. 「A M O A L 0 n O F+CR,LF」(ALARM MONITOR OUT SELECT)  
ALARM MONITOR OUT SELECT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
各出力モニタを【OFF】に設定します。  
nは各出力モニタの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-12. 「AMOnnALON+CR,LF」(ALARM MONITOR OUT SELECT)  
ALARM MONITOR OUT SELECT の設定を各入力チャンネルに対して  
全ての出力モニタを【ON】に設定します。  
nnは各入力チャンネルの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-13. 「AMOnnALOF+CR,LF」(ALARM MONITOR OUT SELECT)  
ALARM MONITOR OUT SELECT の設定を各入力チャンネルに対して  
全てのモニタ出力を【OFF】に設定します。  
nnは各入力チャンネルの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-14. 「AMOALALON+CR,LF」(ALARM MONITOR OUT SELECT)  
ALARM MONITOR OUT SELECT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
全てのモニタ出力を【ON】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-15. 「AMOALALON+CR,LF」(ALARM MONITOR OUT SELECT)  
ALARM MONITOR OUT SELECT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
全てのモニタ出力を【OFF】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-16. 「ASOnn0nON+CR,LF」(ALARM SENSOR OUT SELECT)  
ALARM SENSOR OUT SELECT の設定を【ON】に設定します。  
左端の2文字のnnは各入力チャンネルの番号です。  
次の1文字のnは各センサ出力の端子の番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-17. 「ASOnn0nOF+CR,LF」(ALARM SENSOR OUT SELECT)  
ALARM SENSOR OUT SELECT の設定を【OFF】に設定します。  
左端の2文字のnnは各入力チャンネルの番号です。  
次の1文字のnは各センサ出力の端子の番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-18. 「ASOAL0nON+CR,LF」(ALARM SENSOR OUT SELECT)  
ALARM SENSOR OUT SELECT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
センサ出力を【ON】に設定します。  
次の1文字のnは各センサ出力の端子の番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-19. 「ASOAL0nOF+CR,LF」(ALARM SENSOR OUT SELECT)  
ALARM SENSOR OUT SELECT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
センサ出力を【OFF】に設定します。  
次の1文字のnは各センサ出力の端子の番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-20. 「ASOnnALON+CR,LF」(ALARM SENSOR OUT SELECT)  
ALARM SENSOR OUT SELECT の設定を各入力チャンネルに対して  
全てのセンサ出力を【ON】に設定します。  
nnは各入力チャンネルの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-21. 「ASOnnALOF+CR,LF」(ALARM SENSOR OUT SELECT)  
ALARM SENSOR OUT SELECT の設定を各入力チャンネルに対して  
全てのセンサ出力を【OFF】に設定します。  
nnは各入力チャンネルの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-22. 「ASOALALON+CR,LF」(ALARM SENSOR OUT SELECT)  
ALARM SENSOR OUT SELECT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
全てのセンサ出力を【ON】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-23. 「ASOALALOF+CR,LF」(ALARM SENSOR OUT SELECT)  
ALARM SENSOR OUT SELECT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
全てのセンサ出力を【OFF】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-24. 「ARON+CR,LF」(ALARM RETURN ON)  
ALARM RETURN の設定を【ON】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-25. 「AROF+CR,LF」(ALARM RETURN OFF)  
ALARM RETURN の設定を【OFF】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-26. 「BZON+CR,LF」(ALARM BUZZER OUT ON)  
ALARM BUZZER OUT の設定を【ON】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-27. 「B Z O F+CR,LF」(ALARM BUZZER OUT OFF)  
ALARM BUZZER OUT の設定を【OFF】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けると MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-28. 「MNON+CR,LF」(ALARM MEMORY NUMBER DISPLAY ON)  
ALARM MEMORY NUMBER DISPLAY の設定を【ON】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けると MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-29. 「MNOF+CR,LF」(ALARM MEMORY NUMBER DISPLAY OFF)  
ALARM MEMORY NUMBER DISPLAY の設定を【OFF】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けると MODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-30. 「ASMnnnnL+CR,LF」(AUTO SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL LIVE)  
AUTO SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL の設定を  
【LIVE】に設定します。  
左端の2文字のnnは各出力モニタの番号です。  
次の2文字のnnは各入力チャンネルです。
- 2-2-31. 「ASMnnnnS+CR,LF」(AUTO SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL SKIP)  
AUTO SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL の設定を  
【SKIP】に設定します。  
左端の2文字のnnは各出力モニタの番号です。  
次の2文字のnnは各入力チャンネルです。
- 2-2-32. 「ASTnnnn+CR,LF」(AUTO SEQUENCE MODE SEQUENTIAL TIME)  
SEQUENCE TIME の設定を各出力モニタ対して設定をします。  
左端の2文字のnnは各出力モニタの番号です。  
次のnnは時間で単位は、秒です。設定範囲は【01】～【60】秒です。
- 2-2-33. 「ASTALnn+CR,LF」(AUTO SEQUENCE MODE SEQUENTIAL TIME)  
SEQUENCE TIME の設定を全ての出力モニタ対して設定をします。  
nnは時間で単位は、秒です。設定範囲は【01】～【60】秒です。
- 2-2-34. 「GSADnnnnnnnn+CR,LF」  
(GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP A)  
GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP A の設定をします。  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
nnは左端から出力モニタの5,6,7,8 に対しての設定です。
- 2-2-35. 「GSANnnnnnnnn+CR,LF」  
(GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP A)  
GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP A の設定をします。  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
nnは左端から各出力モニタの5,6,7,8 に対しての設定です。

- 2-2-36. 「GSBDnnnnnnnn+CR,LF」  
(GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP B)  
GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP B の設定します。  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
nnは左端から出力モニタの9,10,11,12に対しての設定です。
- 2-2-37. 「GSBNnnnnnnnn+CR,LF」  
(GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP B)  
GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP B の設定します。  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
nnは左端から出力モニタの9,10,11,12に対しての設定です。
- 2-2-38. 「GSCDnnnnnnnn+CR,LF」  
(GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP C)  
GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP C の設定します。  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
nnは左端から出力モニタの13,14,15,16に対しての設定です。
- 2-2-39. 「GSCNnnnnnnnn+CR,LF」  
(GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP C)  
GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP C の設定します。  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
nnは左端から出力モニタの13,14,15,16に対しての設定です。
- 2-2-40. 「GSTDAnnn+CR,LF」(GROUP SEQUENCE MODE GROUP A DAY TIME)  
GROUP SEQUENCE MODE GROUP A DAY TIME の設定をします。  
nnは時刻です。設定範囲は【00】～【23】です。
- 2-2-41. 「GSTNAnnn+CR,LF」(GROUP SEQUENCE MODE GROUP A NIGHT TIME)  
GROUP SEQUENCE MODE GROUP A NIGHT TIME の設定をします。  
nnは時刻です。設定範囲は【00】～【23】です。
- 2-2-42. 「GSTD Bnn+CR,LF」(GROUP SEQUENCE MODE GROUP B DAY TIME)  
GROUP SEQUENCE MODE GROUP B DAY TIME の設定をします。  
nnは時刻です。設定範囲は【00】～【23】です。
- 2-2-43. 「GSTNBnn+CR,LF」(GROUP SEQUENCE MODE GROUP B NIGHT TIME)  
GROUP SEQUENCE MODE GROUP B NIGHT TIME の設定をします。  
nnは時刻です。設定範囲は【00】～【23】です。
- 2-2-44. 「GSTD Cnn+CR,LF」(GROUP SEQUENCE MODE GROUP C DAY TIME)  
GROUP SEQUENCE MODE GROUP C DAY TIME の設定をします。  
nnは時刻です。設定範囲は【00】～【23】です。
- 2-2-45. 「GSTNCnn+CR,LF」(GROUP SEQUENCE MODE GROUP C NIGHT TIME)  
GROUP SEQUENCE MODE GROUP C NIGHT TIME の設定をします。  
nnは時刻です。設定範囲は【00】～【23】です。

- 2-2-46. 「O n n I n n+CR,LF」( OUTPUT MONITOR 1 ~ 16 INPUT CHANNEL n n )  
各出力モニタ 1 ~ 16 に対して各入力チャンネルを設定します。  
左端の 2 文字の n n は各出力モニタの番号です。  
次の 2 文字の n n はの各入力チャンネルです。
- 2-2-47. 「O A L I n n+CR,LF」( OUTPUT ALL MONITOR INPUT CHANNEL n n )  
全ての出力モニタ ( 1 ~ 16 ) に対して各入力チャンネルを設定します。  
n n はの各入力チャンネルです。
- 2-2-48. 「O n n I 7 0+CR,LF」( OUTPUT MONITOR 1 ~ 16 INPUT AUTO SEQUENCE MODE )  
各出力モニタ 1 ~ 16 に対してオートシーケンス動作に設定します。  
2 文字の n n はの各出力モニタの番号です。
- 2-2-49. 「O A L I 7 0+CR,LF」( OUTPUT MONITOR 1 ~ 16 INPUT AUTO SEQUENCE MODE )  
全ての出力モニタ ( 1 ~ 16 ) をオートシーケンス動作に設定します。
- 2-2-50. 「O 0 1 I 7 1+CR,LF」  
( OUTPUT MONITOR 1 INPUT PROGRAM SEQUENCE MODE )  
出力モニタ 1 をプログラムシーケンス動作に設定します。
- 2-2-51. 「O n n I 7 3+CR,LF」  
( OUTPUT MONITOR 5 ~ 16 INPUT GROUP SEQUENCE MODE )  
各出力モニタ 5 ~ 16 に対してグループシーケンス動作に設定します。  
2 文字の n n はの各グループに含まれる出力モニタの番号です。  
n n : 0 5 ~ 0 8 : グループ A  
n n : 0 9 ~ 1 2 : グループ B  
n n : 1 3 ~ 1 6 : グループ C
- 2-2-52. 「O A L I 7 3+CR,LF」( OUTPUT ALL MONITOR INPUT GROUP SEQUENCE MODE )  
出力モニタ 5 ~ 16 全てに対してグループシーケンス動作に設定します。
- 2-2-53. 「P S n n n n+CR,LF」( PROGRAM SEQUENCE MODE SEQUENTIAL TIME )  
PROGRAM SEQUENCE MODE SEQUENTIAL TIME の設定をします。  
左端の 2 文字の n n は各入力チャンネルです。  
次の 2 文字の n n は時間で単位は、秒です。  
設定範囲は【 0 0 】 ~ 【 1 0 】 秒です。
- 2-2-54. 「P S A L n n+CR,LF」( PROGRAM SEQUENCE MODE SEQUENTIAL TIME )  
PROGRAM SEQUENCE MODE SEQUENTIAL TIME の設定を  
全ての入力チャンネルに対して同一の時間を設定します。  
2 文字の n n は時間で単位は、秒です。  
設定範囲は【 0 1 】 ~ 【 1 0 】 秒です。

- 2-2-55. 「T S A+CR,LF」(TIME SET ADJUST)  
時刻の秒の単位を00に設定します。  
その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。  
その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。  
ALARM状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-56. 「D S D n n+CR,LF」(DATE SET DAY)  
日付の日の単位の設定をします。  
n nは設定値で範囲は【01】～【31】です。  
ALARM状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-57. 「D S M n n+CR,LF」(DATE SET MONTH)  
日付の月の単位の設定をします。  
n nは設定値で範囲は【01】～【12】です。  
ALARM状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-58. 「D S Y n n+CR,LF」(DATE SET YEAR)  
日付の年の単位の設定をします。  
n nは設定値で範囲は【00】～【99】です。  
ALARM状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-59. 「T S H n n+CR,LF」(TIME SET HOUR)  
時刻の時の単位の設定をします。  
n nは設定値で範囲は【00】～【23】です。  
ALARM状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-60. 「T S M n n+CR,LF」(TIME SET MINUTE)  
時刻の分の単位の設定をします。  
n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。  
ALARM状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-61. 「T S S n n+CR,LF」(TIME SET SECOND)  
時刻の秒の単位の設定をします。  
n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。  
ALARM状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-62. 「T O n n ON+CR,LF」(TIME DATE OUTPUT SET 01～16 ON)  
TIME DATE OUTPUT SETの設定を【ON】に設定します。  
2文字のn nは各出力モニタの番号です。  
ALARM状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-63. 「T O n n O F + C R , L F 」 ( TIME DATE OUTPUT SET 01 ~ 16 OFF )  
TIME DATE OUTPUT SET の設定を【OFF】に設定します。  
2文字のnnはの各出力モニタの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-64. 「T O A L O N + C R , L F 」 ( TIME DATE OUTPUT SET 01 ~ 16 ON )  
TIME DATE OUTPUT SET の設定を全ての出力モニタに対して【ON】に  
設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-65. 「T O A L O F + C R , L F 」 ( TIME DATE OUTPUT SET 01 ~ 16 OFF )  
TIME DATE OUTPUT SET の設定を全ての出力モニタに対して【OFF】に  
設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-66. 「T C I n n O N + C R , L F 」 ( TITLE CHARACTER INSERT ON )  
TITLE DISPLAY INSERT の設定を【ON】に設定します。  
2文字のnnはの各入力チャンネルです。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-67. 「T C I n n O F + C R , L F 」 ( TITLE CHARACTER INSERT OFF )  
TITLE DISPLAY INSERT の設定を【OFF】に設定します。  
2文字のnnはの各入力チャンネルです。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-68. 「T C I A L O N + C R , L F 」 ( TITLE CHARACTER INSERT ON )  
TITLE DISPLAY INSERT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
【ON】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-69. 「T C I A L O F + C R , L F 」 ( TITLE CHARACTER INSERT OF )  
TITLE DISPLAY INSERT の設定を全ての入力チャンネルに対して  
【OFF】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-70. 「T C P n n T + C R , L F 」 ( TITLE CHARACTER POSITION TOP )  
TITLE DISPLAY POSITION の設定を【TOP】に設定します。  
2文字のnnはの各入力チャンネルです。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-71. 「T C B n n T+CR,LF」(TITLE CHARACTER POSITION BOTTOM)  
TITLE DISPLAY POSITION の設定を【BOTTOM】に設定します。  
2文字のnnはの各入力チャンネルです。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-72. 「T C P A L T+CR,LF」(TITLE CHARACTER POSITION TOP)  
TITLE DISPLAY POSITION の設定を全ての入力チャンネルに対して  
【TOP】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-73. 「T C P A L B+CR,LF」(TITLE CHARACTER POSITION BOTTOM)  
TITLE DISPLAY POSITION の設定を全ての入力チャンネルに対して  
【BOTTOM】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-74. 「T C O n n O N+CR,LF」(TITLE CHARACTER OUTPUT SET ON)  
TITLE OUTPUT の設定を【ON】に設定します。  
2文字のnnはの各出力モニタの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-75. 「T C O n n O F+CR,LF」(TITLE CHARACTER OUTPUT SET OFF)  
TITLE OUTPUT の設定を【OFF】に設定します。  
2文字のnnはの各出力モニタの番号です。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-76. 「T C O A L O N+CR,LF」(TITLE CHARACTER OUTPUT SET ON)  
TITLE OUTPUT の設定を全ての出力モニタに対して【ON】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-77. 「T C O n n O F+CR,LF」(TITLE CHARACTER OUTPUT SET OFF)  
TITLE OUTPUT の設定を全ての出力モニタに対して【OFF】に設定します。  
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為  
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-78. 「S L A n n+CR,LF」(SLAVE ADDRESS nn)  
SLAVE ADDRESS の設定をします。  
設定範囲は【01】～【32】です。  
RS-485 で使用の場合コマンドエラー「E3+CR,LF」を返します。
- 2-2-79. 「S L A O F+CR,LF」(SLAVE ADDRESS OFF)  
SLAVE ADDRESS の設定を【OFF】に設定します。  
RS-485 で使用の場合コマンドエラー「E3+CR,LF」を返します。

- 2-2-80. 「SWMnn+CR,LF」(SWITCEHR MODE)  
 SWITCEHR MODE の設定をします。  
 設定範囲は【32】、【48】、【64】です。
- 2-2-81. 「PWOON+CR,LF」(PASSWORD OPERATION ON)  
 PASSWORD OPERATION の設定を【ON】に設定します。
- 2-2-82. 「PWOOFF+CR,LF」(PASSWORD OPERATION OFF)  
 PASSWORD OPERATION の設定を【OFF】に設定します。
- 2-2-83. 「PWMON+CR,LF」(PASSWORD MANU DISPLAY ON)  
 PASSWORD MANU の設定を【ON】に設定します。
- 2-2-84. 「PWMOFF+CR,LF」(PASSWORD MANU DISPLAY OFF)  
 PASSWORD MANU の設定を【OFF】に設定します。
- 2-2-85. 「CAnn\*\*\*\*\*+CR,LF」  
 (TITLE CHARACTER nn)  
 各入力チャンネルのタイトルキャラクタを設定します。  
 タイトルの文字長さは16文字なので16文字未満の場合は、  
 スペース文字を設定してください。 \*印はJISコード(2Bytes)
- 2-2-86. 「PWInnnnnn+CR,LF」(Password Number nnnnnn)  
 PASSWORD NUMBER の設定を【nnnnnn】に設定します。  
 範囲は【000000】～【999999】です。 追加

### 3.READ コマンド

#### 3-1.異常時 ANSWER

「E 0+CR,LF」 フレーミングエラー  
「E 1+CR,LF」 パリティエラー  
「E 2+CR,LF」 オーバーランエラー  
「E 3+CR,LF」 コマンドエラー

#### 3-2.COMMAND

##### 3-2-1.「R A E+CR,LF」(READ ALARM MEMORY 件数)

記録されているアラームMEMORYの件数を返します。

「0 0+CR,LF」～「4 0 0+CR,LF」

##### 3-2-2.「R A D+CR,LF」(READ ALARM DURATION TIME)

ALARM DURATION TIMEの設定値を返します。単位は秒です。

「0 1+CR,LF」～「6 0+CR,LF」 【0 1】～【6 0】

##### 3-2-2.「R A I C+CR,LF」(READ ALARM INPUT CONTACT)

ALARM INPUT CONTACTの設定を返します。

「A I C M+CR,LF」 【M A K E】

「A I C B+CR,LF」 【B R E A K】

##### 3-2-3.「R A I S n n+CR,LF」(READ ALARM INPUT n n SELECT CHANNEL)

ALARM INPUT CHANNEL SELECTの設定を返します。

n nは各アラーム接続端子の番号です

「0 1+CR,LF」～「3 2+CR,LF」 / 「4 8+CR,LF」 / 「6 4+CR,LF」

【0 1】～【3 2】 / 【4 8】 / 【6 4】

##### 3-2-4.「R A M O n n 0 n+CR,LF」

(READ ALARM CHANNEL n n MONITOR CHANNEL n OUT)

ALARM MONITOR OUT SELECTの設定を返します。

左端の2文字のn nは各入力チャンネルの番号です。

次の1文字のnは各出力モニタの番号です。

「O N+CR,LF」 【O N】

「O F F+CR,LF」 【O F F】

##### 3-2-5.「R A M N+CR,LF」(READ ALARM MEMORY NUMBER)

ALARM MEMORY NUMBERの設定を返します。

「M N O N+CR,LF」 【O N】

「M N O F+CR,LF」 【O F F】

##### 3-2-6.「R A S O n n 0 n+CR,LF」(READ ALARM CHANNEL n n SENSOR n OUT)

ALARM SENSOR OUT SELECTの設定を返します。

左端の2文字のn nは各入力チャンネルの番号です。

次の1文字のnは各センサ出力の端子の番号です。

「O N+CR,LF」 【O N】

「O F F+CR,LF」 【O F F】

3-2-7. 「 R A R+CR,LF 」 ( READ ALARM RETURN )

ALARM RETURN の設定を返します。

「 O N+CR,LF 」 【 O N 】

「 O F F+CR,LF 」 【 O F F 】

3-2-8. 「 R B Z+CR,LF 」 ( READ ALARM BUZZER )

ALARM BUZZER OUT の設定を返します。

「 O N+CR,LF 」 【 O N 】

「 O F F+CR,LF 」 【 O F F 】

3-2-9. 「 R A S M n n n n+CR,LF 」

( READ AUTO SEQUENCE MODE MONITOR OUT n n CHANNEL n n )

SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL の設定を返します。

左端の2文字の n n は各出力モニタの番号です。

次の2文字の n n は各入力チャンネルです。

「 S K I P+CR,LF 」 【 S K I P 】

「 L I V E+CR,LF 」 【 L I V E 】

3-2-10. 「 R A S T n n+CR,LF 」

( READ AUTO SEQUENCE MODE MONITOR OUT n n SEQUENTIAL TIME )

AUTO SEQ. TIME の設定値を返します。単位は秒です。

2文字の n n は各出力モニタの番号です。

「 0 1+CR,LF 」 ~ 「 6 0+CR,LF 」 【 0 1 】 ~ 【 6 0 】

3-2-11. 「 R E 0 0 1+CR,LF 」 ~ 「 R E 4 0 0+CR,LF 」 ( READ ALARM MEMORY )

ALARM MEMORY の DATA を返します。

「 c h y y m m d d h h M M s s+CR,LF 」

c h = チャンネル No .

y y = 年 m m = 月 d d = 日 h h = 時 M M = 分 s s = 秒

3-2-12. 「 R P S T n n+CR,LF 」

( READ PROGRAM SEQUENCE MODE CHANNEL n n SEQUENTIAL TIME )

PROGRAM SEQ. TIME の設定値を返します。

2文字の n n は各入力チャンネルです。

「 S K I P+CR,LF 」 ~ 「 1 0+CR,LF 」 【 S K I P 】 ~ 【 1 0 】

3-2-13. 「 R G S A D+CR,LF 」 ( READ GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP A )

の設定を返します。

「 n n . n n . n n . n n+CR,LF 」 【 n n . n n . n n . n n 】

2文字の n n は各入力チャンネルです。

左端から各出力モニタの5,6,7,8に対しての設定です。

3-2-14. 「 R G S A N+CR,LF 」 ( READ GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP A )

の設定を返します。

「 n n . n n . n n . n n+CR,LF 」 【 n n . n n . n n . n n 】

2文字の n n は各入力チャンネルです。

左端から各出力モニタの5,6,7,8に対しての設定です。

- 3-2-15. 「RGSBD+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP B)  
の設定を返します。  
「nn.nnn.nnn.nn+CR,LF」【nn.nnn.nnn.nn】  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
左端から各出力モニタの9,10,11,12に対しての設定です。
- 3-2-16. 「RGSBN+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP B)  
の設定を返します。  
「nn.nnn.nnn.nn+CR,LF」【nn.nnn.nnn.nn】  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
左端から各出力モニタの9,10,11,12に対しての設定です。
- 3-2-17. 「RGSBD+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE DAY TIME GROUP C)  
の設定を返します。  
「nn.nnn.nnn.nn+CR,LF」【nn.nnn.nnn.nn】  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
左端から各出力モニタの13,14,15,16に対しての設定です。
- 3-2-18. 「RGSBN+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE NIGHT TIME GROUP C)  
の設定を返します。  
「nn.nnn.nnn.nn+CR,LF」【nn.nnn.nnn.nn】  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
左端から各出力モニタの13,14,15,16に対しての設定です。
- 3-2-19. 「RGTD A+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE GROUP A DAY TIME)  
の設定値を返します。単位は時刻です。  
「00+CR,LF」～「23+CR,LF」【00】～【23】
- 3-2-20. 「RGTN A+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE GROUP A NIGHT TIME)  
の設定値を返します。単位は時刻です。  
「00+CR,LF」～「23+CR,LF」【00】～【23】
- 3-2-21. 「RGTD B+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE GROUP B DAY TIME)  
の設定値を返します。単位は時刻です。  
「00+CR,LF」～「23+CR,LF」【00】～【23】
- 3-2-22. 「RGTN B+CR,LF」  
(READ GROUP SEQUENCE MODE GROUP B NIGHT TIME)  
の設定値を返します。単位は時刻です。  
「00+CR,LF」～「23+CR,LF」【00】～【23】
- 3-2-23. 「RGTD C+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE GROUP C DAY TIME)  
の設定値を返します。単位は時刻です。  
「00+CR,LF」～「23+CR,LF」【00】～【23】
- 3-2-24. 「RGTN C+CR,LF」(READ GROUP SEQUENCE MODE GROUP C NIGHT TIME)  
の設定値を返します。単位は時刻です。  
「00+CR,LF」～「23+CR,LF」【00】～【23】

- 3-2-25. 「RE001+CR,LF」～「RE400+CR,LF」(READ ALARM MEMORY)  
アラームのALARM MEMORYのDATAを返します。  
「ch.yy.mm dd:hh:MM:ss+CR,LF」  
ch=チャンネルNo.  
yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒
- 3-2-26. 「RM01+CR,LF」～「RM16+CR,LF」(READ MODE)  
現在の状態を返します。  
「MENU+CELF」 インフォメーション, MENU表示中  
「ASMnn+CR,LF」 オートシーケンシャルで動作中  
nnは表示中の各入力チャンネルです。  
「PSMnn+CR,LF」 プログラムシーケンシャルで動作中  
nnは表示中の各入力チャンネルです。  
「GSMnn+CR,LF」 グループシーケンシャルで動作中  
nnは表示中の各入力チャンネルです。  
「nn+CR,LF」 各入力チャンネルで画面が固定されています  
「Ann+CR,LF」 ALARM DURATION中のチャンネルです。
- 3-2-27. 「RTCI nn+CR,LF」(READ TITLE CHARACTER CHANNEL nn INSERT)  
TITLE DISPLAY INSERTの設定を返します。  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
「ON+CR,LF」 【ON】  
「OFF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-28. 「RTCONn+CR,LF」(READ TITLE CHARACTER OUTPUT MONITOR 01～16)  
TITLE OUTPUT SETの設定を返します。  
2文字のnnは各出力モニタの番号です  
「ON+CR,LF」 【ON】  
「OFF+CR,LF」 【OFF】
- 3-2-29. 「RTCP nn+CR,LF」(READ TITLE CHARACTER CHANNEL nn POSITION)  
TITLE DISPLAY POSITIONの設定を返します。  
2文字のnnは各入力チャンネルです。  
「TOP+CR,LF」 【TOP】  
「BOT+CR,LF」 【BOTTOM】
- 3-2-30. 「RTD+CR,LF」(READ TIME & DATE)  
マトリックススイッチャの日付&時刻を返します。  
「yy.mm.dd hh:MM:ss+CR,LF」  
yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒
- 3-2-31. 「RTONn+CR,LF」(READ TIME DATE OUTPUT MONITOR 01～16)  
TIME OUTPUT SETの設定を返します。  
2文字のnnは各出力モニタの番号です  
「ON+CR,LF」 【ON】  
「OFF+CR,LF」 【OFF】

3-2-32. 「 R S L A n n + C R , L F 」 ( R E A D S L A V E A D D R E S S )

S L A V E A D D R E S S の設定を返します。

「 0 1 + C R , L F 」 ~ 「 3 1 + C R , L F 」 【 0 1 】 ~ 【 3 1 】

「 O F F + C R , L F 」 【 O F F 】

3-2-33. 「 R S W M + C R , L F 」 ( R E A D S W I T C H E R M O D E )

S W I T C H E R M O D E の設定を返します。

「 3 2 + C R , L F 」 【 3 2 】

「 4 8 + C R , L F 」 【 4 8 】

「 6 4 + C R , L F 」 【 6 4 】

3-2-34. 「 R P W O + C R , L F 」 ( R E A D P A S S W O R D M O D E O P E R A T I O N )

P A S S W O R D O P E R A T I O N の設定を返します。

「 O N + C R , L F 」 【 O N 】

「 O F F + C R , L F 」 【 O F F 】

3-2-35. 「 R P W M + C R , L F 」 ( R E A D P A S S W O R D M O D E D I S P L A Y M E N U )

P A S S W O R D M E N U の設定を返します。

「 O N + C R , L F 」 【 O N 】

「 O F F + C R , L F 」 【 O F F 】

3-2-36. 「 R P W N + C R , L F 」 ( R E A D P A S S W O R D N U M B E R )

P A S S W O R D N U M B E R の設定を返します。

「 n n n n n n + C R , L F 」 【 n n n n n n 】

#### 4. ご注意

RS-485 で使用の場合 COMMAND の先頭に SLAVE ADDRESS の番号を付けます。

ANSWER の先頭にも SLAVE ADDRESS の番号が付きます。

COMMAND の発行と同時にマトリックススイッチャのフロントスイッチを操作  
されますと誤った ANSWER を返すことがあります。

COMMAND の発行を連続で行う場合 100mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

タイトル設定 ( C A C O M M A N D ) の発行を連続で行う場合 500mSeconds. 以上の間隔  
をあけて下さい。

JIS X0208 第 1 水準は 3,489 文字で

0x222f ~ 0x2239, 0x2242 ~ 0x2249, 0x2251 ~ 0x225b, 0x226b ~ 0x2271, 0x227a ~ 0x227d,  
0x2321 ~ 0x232f, 0x233a ~ 0x2340, 0x235b ~ 0x2360, 0x237b ~ 0x237e, 0x2474 ~ 0x247e,  
0x2577 ~ 0x257e, 0x2639 ~ 0x2640, 0x2659 ~ 0x267e, 0x2742 ~ 0x2750, 0x2772 ~ 0x277e,  
0x2841 ~ 0x2f7e, 0x4f54 ~ 0x4f7e のコードは除きます。

JIS X0208 第 2 水準は 3,390 文字で 0x7427 ~ 0x7e7e のコードは除きます。

2003.01.07

ASCII CODE表(16進)

SPACE	020H	A	041H	a	061H
		B	042H	b	062H
-	02DH	C	043H	c	063H
.	02EH	D	044H	d	064H
/	02FH	E	045H	e	065H
		F	046H	f	066H
0	030H	G	047H	g	067H
1	031H	H	048H	h	068H
2	032H	I	049H	i	069H
3	033H	J	04AH	j	06AH
4	034H	K	04BH	k	06BH
5	035H	L	04CH	l	06CH
6	036H	M	04DH	m	06DH
7	037H	N	04EH	n	06EH
8	038H	O	04FH	o	06FH
9	039H	P	050H	p	070H
:	03AH	Q	051H	q	071H
<	03CH	R	052H	r	072H
>	03EH	S	053H	s	073H
		T	054H	t	074H
		U	055H	u	075H
		V	056H	v	076H
		W	057H	w	077H
		X	058H	x	078H
		Y	059H	y	079H
		Z	05AH	z	07AH
ア	0A7H	キ	0B7H	ナ	0C5H
イ	0A8H	ク	0B8H	ニ	0C6H
エ	0AAH	ケ	0B9H	ヌ	0C7H
オ	0ABH	コ	0BAH	ネ	0C8H
ヤ	0ACH	サ	0BBH	ノ	0C9H
ユ	0ADH	シ	0BCH	ハ	0CAH
ヨ	0AEH	ス	0BDH	ヒ	0CBH
ツ	0AFH	セ	0BEH	フ	0CCH
ア	0B1H	ソ	0BFH	ヘ	0CDH
イ	0B2H	タ	0C0H	ホ	0CEH
ウ	0B3H	チ	0C1H	マ	0CFH
エ	0B4H	ツ	0C2H	ミ	0D0H
オ	0B5H	テ	0C3H	ム	0D1H
カ	0B6H	ト	0C4H	メ	0D2H

モ	0D3H	ン	0DDH
ヤ	0D4H		
ユ	0D5H		
ヨ	0D6H		
ラ	0D7H		
リ	0D8H		
ロ	0D9H		
ワ	0DCH		